

平日に異例の3,500人

橋下・ケンタ 高槻で演説

Ameba
ブログ更新中

道州制バカー代 検索

道州制維新

ストーリー①

◆落選中に維新を問うた

松浪ケンタは平成15年の衆議院選挙で落選した。

浪人期間中、自分に問うた。何が足りなかったのか、何を為すべきか、志はどうあるべきなのか。

少子高齢化、デフレなど、社会の構造の閉塞感を感じるにつけ、自然と明治維新に目が向いた。

中でも、統治機構の最大の変革である廃藩置県を見直した。廃藩置県で殿様が県令になった。年貢は税金に、寺子屋は学校に、侍は軍隊に変わった。

松浪ケンタのプロフィール

【経歴】

衆議院議員を3期務め、日本維新の会の結党に参画。元産経新聞記者。昭和46年生、清風高校を経て早稲田大学商学部卒業。高槻市弥生が丘町在住、家族は妻と長女。

【現在の主な役職】

「道州制型統治機構研究会」幹事長
超党派「道州制懇話会」事務局長
道州制政治家連盟全国協議会顧問



平成二十年八月、高槻市内でケンタは道州制で関西復権を掲げ、橋下知事は「まず身を削ることが、大阪府政改革と道州制の共通点」と語った。

“日本を救うのはこれだ” 廃藩置県と道州制が重なった。

◆道州制が共通ビジョンに

道州制に政治生命を懸けることを決意し平成17年、ケンタは国政に復帰。同20年、高槻市で開催した「道州制で関西復権」と題するセミナーに橋下徹知事(当時)が駆け付けた。道州制を通じて、ケンタと橋下の距離は縮まった。

【これまでの主な役職】

「大阪都」法案与野党協議責任者
内閣府大臣政務官(経済財政、規制改革、道州制、地方分権など担当)
厚生労働大臣政務官(厚生担当)
衆議院法務委員会理事
衆議院環境委員会理事
衆議院青少年特別委筆頭理事

【特技・趣味】

プロボクサーライセンス取得、空手初段、ギター、オートバイ、魚・カメの飼育、英語(TOEIC Aレベル)

道州制
子供たちへ贈り物。

ケンタネット
大阪事務所
〒569-0804
高槻市紺屋町11-1 FKビル2F
TEL 072-685-7188
FAX 072-685-7189

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館414号室
TEL 03-3508-7266
FAX 03-3508-3536

発行：ケンタネット
《部内討議資料》

橋下徹と松浪ケンタ 高槻で演説 「僕らにしかできないことを」

◆今のままでは、もたない

橋下 「皆さん、ケンタさんと、僕らにしかできないことをやります。日本維新の会がやります」

11月19日、JR高槻駅北側で、橋下徹さんと松浪ケンタは3,500人の聴衆に訴えました。

ケンタ 「僕たちは、民主党のようにバラマキは約束しません。代わりに仕組みを変えます」

40年前、現役世代8人で1人の高齢者を支えていた時代から、現在は3人で1人。今の子どもたちは1.5人で1人を支えることになります。このままで、日本がもつわけはありません。

仕組みを根本から見直さなければ、非効率な行政が続き、経済構造の転換も行われず、借金が積み重なるばかりです。



「僕たちにしか、できないことをやります。道州制維新で日本の仕組みを根っこから変えます」

◆消費税で足りない 社会保障費

橋下 「消費税5%上げても、13兆円。社会保障費は国と地方合わせて毎年3兆円上昇します。年金、医療、介護にどれだけかかっているのか、誰も説明していない」

—では、対応策は？

橋下 「社会保障を立て直すためには、消費税ではなく、保険料の負担をお願いし、給付も見直さなければなりません」

—では、高齢者の生活は？

橋下 「ある程度の年齢になっても、ある程度の収入が入るように仕組みを変える。役所を改革し、役所の仕事を民間に解放していきます」

◆「維新八策」 仕組みを変える

綱領ともいえる「維新八策」には、日本の仕組みを根っこから変える政策が並んでいます。

- ①道州制をはじめとする統治機構改革
- ②年金の積み立て方式化で世代間格差の是正
- ③電力自由化による電力インフラの転換(安価・効率)

仕組みを変えて、次世代に誇れる日本を残します。



平日に異例の3500人

(11月20日付産経新聞朝刊より)